

# 東京都杉並区

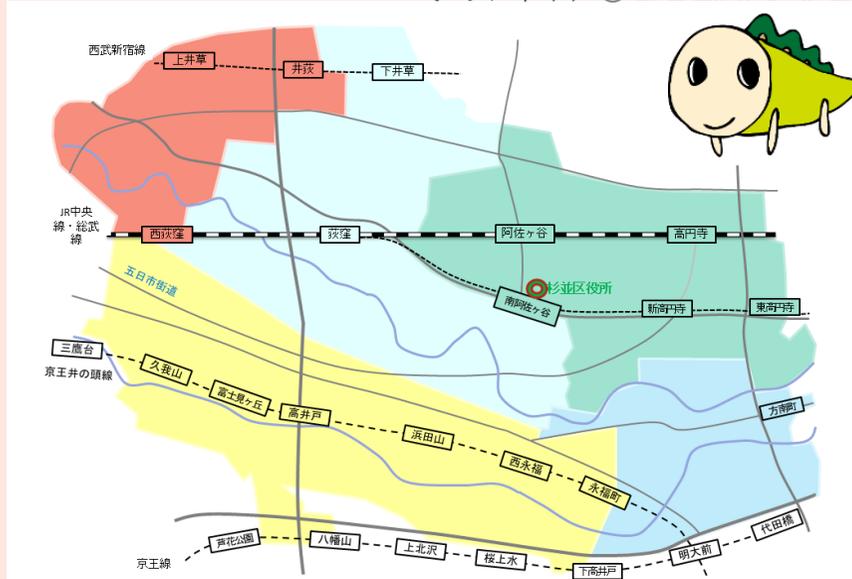
## 地域包括ケアシステム構築のための取り組み

杉並区では、精神障害者が住み慣れた地域で安心して生活できることを目指して、多職種が協働しながら、さまざまな取組を行っています。

1 自治体の基礎情報

取組内容

なみすけ © SUGINAMI CITY



取組内容

- ①保健医療福祉関係者による協議の場の設置
- ⑤ピアサポートの活用に係る事業
- ⑥アウトリーチ支援に係る事業
- ⑦措置入院者及び緊急措置入院者等の退院後の医療等の継続支援に係る事業
- ⑫入院中の精神障害者の地域生活支援に係る事業

基本情報（自治体情報）

市町村数（R4年7月時点）	1	市町村	
人口（R4年7月時点）	572,043	人	
精神科病院の数（R4年7月時点）	33	病院	
精神科病床数（R4年7月時点）	0	床	
入院精神障害者数 （R2年6月時点）	合計	628	人
	3か月未満（％：構成割合）	160 25.5	人 ％
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	111 17.7	人 ％
	1年以上（％：構成割合）	357 56.8	人 ％
	うち65歳未満	108	人
	うち65歳以上	249	人
退院率（R2年6月時点）	入院後3か月時点	29.3	％
	入院後6か月時点	23.4	％
	入院後1年時点	1.4	％
相談支援事業所数 （R4年7月時点）	基幹相談支援センター数	1	か所
	一般相談支援事業所数	8	か所
	特定相談支援事業所数	40	か所
保健所数（R4年7月時点）	1	か所	
（自立支援）協議会の開催頻度 （R4年度）	（自立支援）協議会の開催頻度	3	回／年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R4年7月時点）	都道府県	有・無	か所
	障害保健福祉圏域	有・無	か所／障害圏域数
	市町村	有	1 / 1 か所／市町村数

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

杉並区では、だれもが身近な地域で住み続けるために、障害の種別や程度に応じたきめ細かな支援体制を充実させるとともに、その人らしい生活が送れるよう相談体制の充実を図ります。

1. 杉並区地域自立支援協議会の専門部会である地域移行促進部会を協議の場とし、ピア活動の推進・精神科病院との連携・退院後の地域課題に関して検討を進め、地域移行・地域定着の取組を進める。
2. 精神科病院に入院している方の退院支援や退院の動機づけ支援の実施にあたり、地域で生活する精神障害当事者の方と共に病院を訪問し、個別支援やグループ支援を実施する。また、ピアサポートの新たな担い手の育成や既存のピア相談員の質の向上を図ることを目的とした研修も実施する。
3. 精神科病院へ長期入院している区民を対象に、退院の動機づけや課題の整理等を支援する地域移行プレ事業(杉並区独自)を実施し、地域移行の促進を図る。

## 2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

4. 23条通報になったが措置入院には該当せず47条対応が必要な者や、治療を中断した者または未治療者等を対象に、地区担当保健師、精神保健福祉士等による訪問支援事業「保健型アウトリーチ事業」を実施する。

5. 東京都版措置入院者退院後支援ガイドラインに対応した退院後支援が行えるよう、多職種（保健師、精神保健福祉士、民間事業所等）支援を実施し、本人の意思を尊重しながら適切な医療や障害福祉サービスの利用を支援することで、本人およびその家族等が安定した地域生活を送れるようにする。



### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

#### ●これまでの取り組み●

- 平成19年 地域移行促進部会が杉並区地域自立支援協議会の専門部会として設置される  
杉並区精神障害者退院促進事業(地域移行プレ相談事業の前身)開始
- 平成24年 地域移行プレ相談事業開始
- 平成28年 杉並区精神障害者グループホーム 活用型ショートステイ事業開始
- 平成30年 杉並区保健福祉計画に「心の健康相談の充実」や「精神障害者の療養支援」が、  
重点目標として盛り込まれる。  
退院支援に関するフローを作成、運用開始  
\* 多職種・多機関で支援する体制づくりが行われた  
地域移行について精神科病院へのアンケート調査、訪問、懇談会を開催
- 令和1年 保健型アウトリーチ事業開始
- 令和3年 杉並区基幹相談支援センター開設

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

## ●関係機関との連携の強化

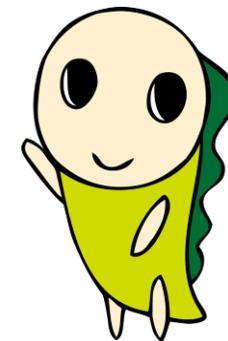
- ・ 病院や関係者からの地域移行に関する問い合わせが増加。
- ・ 地域移行プレや地域移行支援等、本人の状況や希望に応じたサービスを関係機関と相談しながら案内。利用実績も伸びてきている。

○地域移行プレ事業 利用者数

	全数	新規
H30年度	12	
R1年度	11	
R2年度	24	
R3年度	19	5

○地域移行支援 利用実績

	全数	新規	65歳以上
H30年度	7	3	0
R1年度	12	8	0
R2年度	13	8	2
R3年度	15	7	1



## ●オンラインを活用した地域移行を実施

杉並区障害者地域相談支援センター(すまいる)と精神科病院との間で、Zoomを使用したピアグループ活動を実施。協力病院の拡大も進めている。

## 5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

## 【特徴(強み)】

- ・自立支援協議会 地域移行促進部会を協議の場とし、多機関の多職種で課題の整理と解決に向けた協議を行っている。
- ・精神障害者に対して多職種(地区担当保健師、精神保健福祉士等)による訪問支援事業「保健型アウトリーチ事業」を実施している。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
精神科病院と適切な連携が取れる関係づくりが必要。	地域の精神科病院との懇話会を実施。 杉並区の取組を関係機関に伝えていくと共に、関係機関のニーズを把握し、顔の見える関係づくりを行う。	行政	課題の整理・懇話会の企画実施
		医療	懇話会への参加・関係機関との連携方法検討
		福祉	懇話会への参加・関係機関との連携方法検討
		その他関係機関・住民等	ピアサポーターとの協力・連携
対象者の高齢化や障害の重複によって、既存の障害福祉サービスの利用が難しい・住居や居場所の確保が難しい等の課題が出ている。	高齢部門との連携を強化し、自立支援協議会等を活用して課題の整理をしていく。	行政	自立支援協議会の運営・課題の整理
		医療	自立支援協議会への参加
		福祉	自立支援協議会への参加
		その他関係機関・住民等	ピアサポーターとの協力・連携

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和4年度末)	見込んでいる成果・効果
①精神科病院との連携がスムーズに行われる。			連携が強化されることで、支援を必要とする人に、適切な支援が提供される。
②地域移行支援・地域移行プレ事業の件数			サービスを利用することで、地域移行が適切に行われる。

## 6

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた  
今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R4年6月 9月 12月	協議の場	杉並区地域自立支援協議会の専門部会である地域移行促進部会を協議の場とし、ピア活動の推進・精神科病院との連携・退院後の地域課題に関して検討を進め、地域移行・地域定着の取組を進める。
R4年 12～1月頃	精神科病院との懇話会  	杉並区での地域移行の取組について関係機関に情報提供すると共に現状や課題を共有することで、連携を強化し地域移行の推進につなげる。 【内容】 地域の精神科病院と連携し、講演とパネルディスカッションを実施。実際に地域移行に携わる支援者からも取組について発表。